

お問い合わせ先

中間貯蔵施設 技術実証フィールド

設置：環境省

運営：中間貯蔵・環境安全事業株式会社（JESCO）

<所在地>

〒979-1300 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字長者原731-1他

TEL：0240-23-5232

〇アクセス

常磐自動車道大熊ICから車で約10分、国道6号線長者原東ゲートから中間貯蔵施設区域に入り約3分。なお、中間貯蔵施設区域への入域には、事前の一時立入許可申請が必要です。



<連絡先>

〒970-8026 福島県いわき市平字大町7-1

中間貯蔵・環境安全事業株式会社

中間貯蔵管理センター 研究業務等推進課

TEL: 0246-23-8934 FAX: 0246-23-8923

E-mail: chukan_center_kenkyu@jesconet.co.jp

※中間貯蔵・環境安全事業株式会社（JESCO）は、法律に基づき、国等から委託を受けて中間貯蔵に係る事業を行っています。

中間貯蔵施設

技術実証フィールド



技術実証フィールドは、除去土壌等の減容・再生利用や最終処分を効率的に進めていくための技術開発を行うことを目的とした施設です。ここでは、中間貯蔵施設エリア内に位置するという立地環境を生かし、中間貯蔵施設に運び込まれた除去土壌等を用いて、調査研究を行うことができます。

管理棟

事務室、会議室（大：20名用、小：12名用、web会議可）等を設置し、技術実証フィールドの管理運営を行います。



分析室棟

放射能濃度分析、土質試験、化学分析等の装置を設置し、実証試験に必要な分析等を行うことができます。



放射線モニタリング

技術実証フィールド内は、JESCO及び実証事業者が定期的に放射線量のモニタリングを行い、作業員の被ばく線量の管理、周辺環境の安全確保を確実に実施します。

放射線モニタリング結果 (μSv/h)

	工事開始時 (2019/2)	資材搬入前 (2019/9)	現在 (2020/1/9)
①	5.15	1.68	1.40
②	2.18	0.56	0.53
③	2.07	1.60	0.52
④	3.28	0.95	0.70
⑤	4.60	1.58	0.89



資材置場

除去土壌等の実証試験に用いる資材を保管する場所です。



実証ヤード

約40m×約40mのヤード（4面）を用いて、実証試験を行うことができます（二分割利用も可）。

実証ヤードは、公募で決められる実証事業者や、JESCO（共同で研究を実施する者を含む。）が利用します。



2019年度の実証事業

実証試験者	実証テーマ	ヤードNo.	期間
鹿島建設	除去土壌中の放射性Cs含有粘土の分離性向上を目指した物理的解泥技術の実証	4 (南側)	2019/9~2019/11
奥村組	膨潤抑制剤添加処理により除去土壌の再利用を効率化する技術	4 (北側)	2019/9~ (2020年度も継続予定)
日立造船	ばいじん等からのCs分離回収とその安定化技術の実証	1 (東側)	2019/11~2020/2
JESCO・国立環境研究所	除去土壌の再生利用時の安全性や安定性に関する実証実験	3	2020/1~ (2021年度まで継続予定)